

ごかせ未来キャリア協同組合を活用した労働力確保(事例2)

【取組の経緯】

- ・代表は親元就農(水稻と野菜)を経て、10年ほど五ヶ瀬ワイナリー株式会社に勤務した際に、ぶどう栽培技術を習得。後退職を機に、現在は実家の農地に加え耕作放棄されていたぶどう畑を借り受けて再生し、ぶどう栽培を専業としている(ぶどう栽培17年、栽培面積80a)。
- ・シルバー人材センターを利用して労働力を確保していたが、高齢化で作業回数が減るなど、人手確保に課題を感じていた。
- ・以前から面識のあった「ごかせ未来キャリア協同組合」の代表に人手確保について相談し、当組合の人材派遣を提案されたことから利用を開始。

【取組の概要】

- ・繁忙期となる6月～10月(開花～収穫作業等)に派遣職員(1名)を週3日雇用。
- ・作業効率(作業内容の把握等)と体力面を考慮して、若手人材を「ごかせ未来キャリア協同組合」に依頼し雇用している。

【今後の事業展開】

- ・五ヶ瀬産100%のぶどうにこだわるワイナリーの理念のもと持続可能な農業を目指す。
- ・耕作放棄地や離農する園地については、労働力で賄える範囲はできる限り引き受け、五ヶ瀬のぶどう産地を盛り上げていきたい。



代表の佐藤さん



西田さん(派遣社員)



ご夫婦と派遣社員



収穫したワイン用品種のナイアガラ